

平成30年度太陽とみどりの里重点事業報告

社会福祉法改正による体制整備を平成29年度に終え、それに基づいた事業運営の初年度である。平成30年度介護報酬の改定も行われ、特にデイサービスの報酬については厳しいものがあり、特養については若干のUP改定であったが、法人全体での運営は予断を許さない状況でのスタートであった。指定管理施設の譲渡については、市へ要望した修繕・器具の更新等実施してもらった。一方中期計画の策定については課題について進展せず次年度で策定することとした。

地域における新たな公益的取り組みは本年度要件的に難しかったが、比田デイサービスでの取り組みを視野に入れて今後も検討していく。

項目	実施計画	実施状況
(1) 指定管理施設の譲渡に係る市との協議・折衝	<ul style="list-style-type: none"> ・安来市との施設改修協議・折衝 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕 市との協議を重ね、「尼子苑」・「太陽デイサービスセンター」・「比田デイサービスセンター」の修繕が完了した。詳細は3月理事会で報告を行った。平成30年度、設備更新及び修繕にかかる経費は市施工分17,120,400円法人負担分899,600円であった。 ・譲渡について 平成31年4月1日建物無償譲渡契約・土地使用借借契約を締結する。土地について契約期間は平成61年3月31日まで。(契約締結時表記)なお土地使用料も無償である。
(2) 中期計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・つどいの里内施設、特にグループホームなごみの建設計画 ・人材確保のための職員の雇用条件の弾力化と処遇の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・安来市と用地について協議し一定の候補地についても出ているが、具体的な進展にはなっていない。今後も市とは継続協議する。 ・平成31年度の処遇改善については2月提出したが、消費税増税を財源とした、新たな処遇改善の全容が示されていないので次年度改めて改善する。
(3) 地域における公益的取組の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・安来市の介護予防・総合支援事業の法人事業所内での事業展開の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・安来市より9月14日付既存事業の加算通知があったが、現状では要件的に厳しく本年度取得は不可。新規事業の取り組みは示されず、現況のままであった。

平成30年度 事業報告書

法人事務局

【総括】

指定管理施設の譲渡を受けるにあたって、覚書分とその他分で大規模な修繕工事を安来市に実施していただき、利用環境の改善と設備機器の延命化を図ることができた。

介護人材確保については、通年的な職業安定所（ハローワーク）による募集と近隣の高校や専門学校への新卒者募集訪問、当法人の修学資金貸与規程による貸付などにより新卒者2名の確保を図ることができた。

福利厚生面では、労働安全衛生法の改正により義務付けられたストレスチェックを実施し、メンタルヘルスの向上を図った。（実施率：66%）

また、労働契約法が改正され、年休の時季指定や副業兼業の届出制など就業規則を始めとして所要の改正を行った。

1. 法人運営

①役員会等の開催状況

- ・理事会 4回開催（6/5 10/17 12/11 3/18）
- ・評議員会 4回開催（6/21 10/26 12/18 3/26）
- ・監査会 2回開催（5/23 11/7）
- ・内部経理監査会 1回開催（2/7）

②研修関係

- ・社会福祉法人監事研修会：監事2名 職員1名（7/19 12/5）
- ・外国人材受入れに係る制度説明会：理事長 職員1名（2/28）
- ・障害者雇用納付金制度、年金給付実務、メンタルヘルス他：事務局職員

③その他

- ・人事考課の実施（正規職員・契約職員）正規職員の6名を昇格
- ・情報開示 機関紙の発行：年間2回（7月・12月）
法人ホームページと電子開示システムで公表
- ・法人内定例会 毎月第3木曜日 11回開催
- ・「島根安全ドライブコンテスト2018」へ31チーム93名が参加

2. 組織整備・管理

- ・定款の一部改正
- ・就業規則の一部改定
- ・育児介護休業等に関する規程の一部改正 他

3. 介護事業運営・公益的取組

- ・安来市社会福祉法人連絡会（安来地域内9法人）による公益的取組に参画

4. 介護人材確保・能力開発

- ・新規採用者（高校卒、専門学校卒）2名採用
- ・介護福祉士養成修学資金貸与／継続1名
- ・法人職員研修 2回開催（7/26 8/8）「人権同和」「高齢者虐待（身体拘束）」133名参加
- ・処遇改善交付金（介護職員）の活用／定期昇給の引き上げ、一時金支給

5. 施設整備関係（主なもの）

- ・電動ベッドの購入 2台（尼子苑） 約55万円（税込）
- ・車いす対応ワゴン車のレンタル 1台（尼太陽デイ） 342万円（税込）

【収支状況】（財務諸表等は別冊の決算書のとおり）

【職員状況】（平成31年3月末現在）

- ・正規職員：50名 契約職員：28名 パート職員：62名 登録職員：10名
合計 150名

平成30年度理事会・評議員会・監査会に関する事項

○理事会に関する事項

開催日	出席数	議案等	結果
平成30年 6月5日	8名	第1号議案 平成29年度事業報告及び計算書類、附属明細書、財産目録の承認並びに監事監査報告について	承認
平成30年 10月17日	7名	第1号議案 平成30年度第1次補正予算(案)について 第2号議案 平成30年度第2次補正予算(案)について 第3号議案 平成30年度第1回臨時評議員会の招集について	承認
平成30年 12月11日	8名	第1号議案 定款の一部改正について 第2号議案 定款細則の一部改正について 第3号議案 理事会運営規定の一部改正について 第4号議案 平成30年度第3次補正予算(案)について 第5号議案 平成30年度第2回臨時評議員会の招集について	承認
平成31年 3月18日	8名	第1号議案 定款の一部改正について 第2号議案 就業規則の一部改正について 第3号議案 役員、評議員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について 第4号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 第5号議案 平成30年度第4次補正予算(案)について 第6号議案 移行時特別積立金の取り崩しについて 第7号議案 平成31年度事業計画(案)、資金収支予算(案)について 第8号議案 平成30年度第3回臨時評議員会の招集について 第9号議案 主要人事について	承認

○評議員会に関する事項

開催日	出席数	議案等	結果
平成30年 6月21日	10名	第1号議案 平成29年度事業報告及び計算書類、附属明細書、財産目録の承認並びに監事監査報告について	承認
平成30年 10月26日	9名	第1号議案 平成30年度第1次補正予算(案)について 第2号議案 平成30年度第2次補正予算(案)について	承認
平成30年 12月18日	10名	第1号議案 定款の一部改正について 第2号議案 定款細則の一部改正について 第3号議案 平成30年度第3次補正予算(案)について	承認
平成31年 3月26日	9名	第1号議案 定款の一部改正について 第2号議案 就業規則の一部改正について 第3号議案 役員、評議員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正について 第4号議案 平成30年度第4次補正予算(案)について 第5号議案 移行時特別積立金の取り崩しについて 第6号議案 平成31年度事業計画(案)、資金収支予算(案)について	承認

○監査会に関する事項

開催日	出席数	議案等
平成30年 5月23日	2名	1) 平成29年度事業及び決算監査 2) 理事の業務執行状況
平成30年 11月7日	2名	1) 平成30年度上半期事業及び中間決算監査 2) 理事の業務執行状況
平成31年 2月7日	2名	1) 平成30年度法人内部経理監査

平成30年度 事業報告書

事業所名 尼子 苑

目 標	事業計画	実施状況
<p>重点目標</p> <p>サービス目標</p>	<p>①利用者一人ひとりの人権を尊重し個々の思いやニーズが実現できるよう支援しサービスの質の向上に繋げる。</p> <p>②職員の資質向上と専門的知識習得のため研修等に積極的に参加し資格取得に取り組む。</p> <p>③実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行い地域交流に繋げる。</p> <p>④関係機関等との連携を密に行い信頼関係を深める。</p>	<p>○全職員を対象に人権・同和問題、高齢者虐待について研修を行い、高齢者や障がい者の日々のケアに生かした。また、食事・入浴・排泄・行事などケア担当検討委員会を定期的に開催しサービスの質の向上に努めた。</p> <p>○医行為に関する吸痰研修に参加し資格取得に取り組んだ(第一号取得2名 基本研修のみ1名)。</p> <p>○研修医(6名)や福祉専門学校の実習(6名)、職業訓練センターの実習(3名)など積極的に受け入れ交流に努めた。</p> <p>○老人保健施設や介護医療院、療養型医療施設、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等を訪問し情報交換に努めた。</p>
<p>サービス目標</p>	<p>①利用者個々の状況にあった外出援助や離床を積極的にに行い単調になりがちな生活に変化をつけ楽しみのある生活ができるよう努める。</p> <p>②バイキングやセレクト食・誕生食など選んで食べる機会を増やし、食べる楽しみを満喫できるよう努める。</p> <p>③利用者の健康状態の把握に努め異常の早期発見・早期治療に努め、感染症の予防及び対策を徹底する。</p> <p>④苑内行事や季節ごとの行事に利用者が全員参加できるように努める。</p> <p>⑤事故の防止及び適切な緊急対応を行い安全に安心して生活できる快適な場の提供に努める。</p> <p>⑥苑内外の研修に積極的に参加し資格取得及び認定の取得に取り組む。また、接遇研修や階層別研修などに参加し全職員が各々の立場で役割を果たす。</p> <p>⑦協力病院や各関係機関との連携を密に行い信頼関係を深める。</p>	<p>○半年に1回、本人・家族と面談し情報交換を行った。意向を確認しながら外に出かける機会が増えるよう個別援助に繋げた。</p> <p>○毎月2回定期的にバイキングやセレクト食を実施した。特に刺身バイキングやにぎり寿司バイキングは大好評。また、スイーツバイキングでは饅頭が品切れになるほど好評だった。オムライスの実演や鯨の解体ショーによる昼食はとも喜ばれ次回を楽しみにされていた。毎月、誕生者のリクエストによりお祝い膳として昼食に松花堂弁当を提供した。メニューは誕生者の希望を全て取り入れた。</p> <p>○利用者の日々の健康状態を観察し主治医との連携を図り、病状の悪化防止に繋げた。感染症予防の取り組みの一つとして廊下の手すりやドアノブ等の消毒を徹底しインフルエンザ等の予防に努めた。年間の入院者数は6名でほぼ全員短期間で退院できた。</p> <p>○地域の行事や自宅への外出、ジョギングや外食、ドライブなど計画的に実施した。年間72名の外出援助を行った。</p> <p>○喀痰吸引の第一号資格取得に取り組んだ(2名)。毎月1回定期的に苑内研修を実施し、アクシデント報告・身体拘束・虐待防止、認知症ケア・感染症予防等々について事例検討を行った。施設外研修は県老協協を中心に参加した(18名)。</p>

<p>能力開発目標</p>	<p>①研修等に積極的に参加し自己研鑽に努め、全職員が各々の立場で役割を認識し能力の向上を図る。 ②事故報告やインシデント報告等の活用により事故の状況把握・分析・検証し再発防止能力の向上を図る。 ③職員間のコミュニケーションとチームワークにより明るい職場づくりに努力する。</p>	<p>○人権、緊急時の対応、身体拘束、虐待、認知症、介護技術など研修を実施した。また、各ケア検討チームを中心に定期的に話し合いを行いサービスの質の向上に繋がった。 ○インシデント報告書を積極的に記入できるよう、職員会議や日々のミーティングを利用して「気づき」について意識を高めるよう努力した。 ○全職員を対象に高齢者虐待、人権・同和問題について研修した。職業としての介護・説明できる介護・介護職員の専門性や人権・差別などについて学んだ。</p>
<p>地域目標</p>	<p>①保育園、中学校との交流や実習生・ボランティアなどの受け入れを積極的に行い地域との関係を密にする。 ②地域の行事等に積極的に参加し地域住民との交流を図る。</p>	<p>○毎月1回定期的にひろせ保育園の訪問があり、園児とふれ合うことができた。また、婦人会による抹茶ボランティアを月1回定期的に受け入れた。大正琴や民謡などボランティアの受け入れを行い交流の輪が広がった。研修医(6名)や福祉専門学校の実習(6名)、職業訓練センターの実習(3名)など受け入れができた。 ○お雛祭りや恵比須祭りなど町内の行事に出かけ地域の方と交流できた。祇園祭神輿の巡幸がありお参りできた。9月に尼子苑敬老会を開催した。地元のバンビークイズによるダンスや地元有志によるよさこい踊り、大正琴などの演芸が披露され、また地域の方々の出店などもあり入居者、家族や地域の人など約200人くらいで賑わった。</p>
<p>業務目標</p>	<p>①長期入所については定員82名。稼働率98%を目標とする。 ②短期入所については定員8名。稼働率90%以上を目標とする。</p>	<p>○長期入所については、年間延べ29,096人、1日平均約80人、稼働率97.21%の実績だった。前年度に比べ稼働率0.83%下降した。 ○短期入所については、年間延べ2,467人、1日平均約6.8人、稼働率84.50%の実績だった。前年に比べ稼働率8.31%下降した。</p>

平成30年度 事業報告

事業所名 尼子苑

1. 年間行事

4月	チューリップ見物 芝桜見物 ぶり解体ショー	はしまチャレンジ:三食ホットケーキ
5月	鯉のぼり見物 ツツジ見物	はしまチャレンジ:苺ジャム入り蒸しパン
6月	笹巻き 菖蒲湯 紫陽花見物 外食 防災訓練	はしまチャレンジ:玉子焼き
7月	大正琴演奏 祇園祭神輿巡幸 外食お出かけ	はしまチャレンジ:焼きそば
8月	七夕 寧夏大学日本語学科学生訪問	はしまチャレンジ:巻き寿司
9月	尼子苑敬老会	はしまチャレンジ:スタミナ味噌汁
10月	物故者法要 運動会 紅葉狩り	はしまチャレンジ:玉子焼き
11月	秋の味覚を味わう会 紅葉狩り 外食お出かけ	はしまチャレンジ:大学いも
12月	ゆず湯 クリスマス会 餅つき	はしまチャレンジ:焼きそば
1月	とんどさん 白鳥見物	はしまチャレンジ:じゃがいも餅
2月	節分 そば打ち	はしまチャレンジ:だいこん餅
3月	そば打ち ひな祭り見物 桜見物	はしまチャレンジ:ポールドーナツ

※その他、バイキングやセレクト食、保育園交流、抹茶VOは毎月1回定期的に実施した。また、買い物、ドライブ、外食、ふるさと訪問など個別援助計画に沿って実施した。

2. 研修

施設内研修	外部研修
・身体拘束廃止 虐待防止について	・県老協看護師専門部会研修
・事故について	・認定調査員研修
・感染症予防について	・介護報酬に関する研修(栄養関連)
食中毒予防 ノロウイルスなど	・認知症ケア研修会
尿路感染症 ESBL対策	・介護技術研修会
風邪とインフルエンザ予防対策	・喀痰吸引実地研修
皮膚疾患	・喀痰吸引基礎研修
・高齢者虐待 人権同和問題について	・老協県大会
・救急救命について	・排泄ケアセミナー
・医行為に関わる喀痰吸引研修	
・ケアに関する研修	
排泄ケア ポジショニング 移乗移動	
・復命研修	
① 老協県大会研修	
介護の現場に笑顔と感動を	
笑顔を引き出すコミュニケーション	
事例検討	
② 老協特養部会研修会	
2018年制度改正と社会保障	
③ 介護報酬改定に関する研修(栄養)	
栄養マネジメント	
栄養状態の改善 ケア計画	
④ 認知症ケア研修	
若年性認知症	
笑顔で介護する基礎知識	
⑤ 介護技術研修	
動作 姿勢管理 ポジショニング	
⑥ 排泄ケアセミナー	
業務改善としてのおむつ外し	

3. 入退所状況

入所者数	27名			
(参考)	自宅	施設	病院	その他
入所前の状況	8名	10名	9名	0名
退所者数	26名			

4. 入所者数 (H31.3.31現在 要介護度別)

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数	1名	8名	24名	31名	18名	82名

5. 短期入所利用者状況

	延べ人数	稼働率
4月	163	67.92
5月	227	91.53
6月	225	93.75
7月	228	91.94
8月	214	86.29
9月	187	77.92
10月	210	84.68
11月	213	88.75
12月	208	83.87
1月	183	73.79
2月	200	89.29
3月	209	84.27
合計	2.467	84.5

平成30年度 事業報告書

事業所名 太陽デイサービス

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の残存機能を見極め、在宅生活が継続・維持出来るよう支援する。 ・利用者・家族のニーズを的確に知り、サービスの質の向上に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る事はしていただき、在宅生活の継続・維持が出来るよう努めた。 ・担当者会議や送迎時、連絡帳等で情報を得、サービスの質の向上に努めた。
サービス目標	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰なサービス提供をしないよう心掛ける。 ・利用者の体調管理に着目し、風邪予防等に効果的なレクリエーション活動(歌や笑い等)を取り入れ提供する。 ・利用者・家族の意見・要望を聞き、サービスの現状を把握し、サービスの質の向上に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛け、見守り等を行い、出来る事はしていただいた。 ・歌や笑い等のレクリエーション活動を提供した。 ・担当者会議や送迎時、連絡帳等で情報を得、サービスの質の向上に努めた。
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し職員の専門性を高めスキルアップに努める。 ・施設内研修により、職員のレベルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加し、専門性を高めた。 ・内部研修を実施し、レベルアップを図った。
地域目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れを行い、地域との関係性を深める。 ・「デイサービス祭り」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに紙芝居ボランティアの方が来られた。 ・「デイサービス祭り」を実施した。
業務目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1日平均22名の利用 稼働率78～80%を目指す。 ・ケアマネージャーと情報交換を行い、利用者のニーズに合わせてサービス提供と臨機応変な対応を行う。 ・新規利用者の受け入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の平均利用者は18名、稼働率は69%で、目標には達しなかった。 ・ケアマネージャーと情報交換を行った。ニーズに合わせてサービス提供に努めた。 ・新規利用者の受け入れ24名(平成29年度21名)。

<資料1>

各種行事・外出支援について

4月	町内雞めぐり・桜花見、チューリップ花見外出	10月	運動会
5月	つつじ花見	11月	紅葉狩り外出
6月	笹巻き作り あじさい花見	12月	クリスマス会
7月	七夕飾り 祇園祭神輿巡幸	1月	新年会
8月		2月	節分豆まき 白鳥見学 紙芝居Vo
9月	デイサービス祭り 敬老会	3月	干し大根作り

<資料2>

研修参加状況

	介護職員	看護職員	生活相談員	管理者	合計
常勤職員	0	1	1	0	2
非常勤職員	0	0			0

*主な研修内容

外部研修:介護支援専門員更新研修・実務研修

内部研修:復命研修(腰痛) 救命救命講習

<資料3>

利用実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30平均	H29平均
H30延人数	499	530	566	535	517	509	532	489	445	339	381	481	485	523
平均利用者数	20	19.6	21.8	20.6	19.1	20.4	19.7	18.8	17.8	14.1	15.9	18.5	18.9	20.3
稼働率	73.93	72.7	80.63	76.21	70.92	75.41	72.98	69.66	65.93	52.31	58.8	68.52	69.83	74.97

平成30年度 事業報告書

事業所名 比田デイサービスセンター

目 標	事業計画	実施状況
重点目標	○利用者ひとり人が安心して、在宅生活が継続できるように支援する。	・利用者個々の事情・状態に合わせて利用回数の調整、介護内容を検討しながら在宅生活がより良い状態で継続出来るように支援してきた。
サービス目標	○レク活動を通して楽しみと達成感を感じ自信へとつながるような支援の充実を図る。	・歌や音楽に合わせて身体を動かしたり、楽器を使用し指を使うプログラムを提供したりして、楽しみながら身体や脳の活性化につなげられるように努めた。 ・雑巾縫いを比田小学校・認定こども園比田等へ寄贈することを目的に行い意向向上につなげた。
能力開発目標	○研修に参加し、マンネリ化を予防しレベルアップに繋げる。 ○プロ意識を持ち、知識習得し専門性を高める事で職員の資質向上を目指す。 ○資格取得を目指す。	・研修に参加し、復命研修をすることで全職員が内容を共有し知識習得を行った。(資料①)) 介護福祉士資格取得。
地域目標	○運営推進会議を設置し、年2回開催する。 ○地元ボランティアの受け入れを積極的に行う。 ○「比田デイサービス交流会」を通してより多くの地域の方々に貢献し交流の輪を広げる。また、保育所・小学校との交流も継続していく。 ○地域行事への参加(東西比田盆踊り参加・文化祭参加)	・運営推進会議をH30年8月22日、平成31年2月13日の2回実施した。 ・今年度は交流センターの耐震工事と重なり会場を当事業所にて行った。会場は狭くなったが、その分身近に地域の方々と一緒に楽しむことができた。
業務目標	○少子高齢化が顕著に進むなか、要介護者を在宅で支えていくこと、また、独居で生活していくのは大変であるが、身近な寄り合い場所として1日平均14名を確保する。 ○ケアマネージャーとの連携を密にし、柔軟な対応で新規利用に繋げていく。	・西比田、東比田で開催される予定の比田踊りは台風のため中止となった。又、比田地区文化祭に利用者様の作品展示を行った。(資料②) ・昨年度同様、独居生活利用者の在宅生活が難しくなり施設入所、短期入所の長期利用、入院等が重なったこと、今年度新規利用者数が10名もなく目標達成には至らなかつた事も要因となった。今後も地域性からみて多くの新規利用は望めないように思う。(資料③) ・新規利用・利用回数増となるよう努力を行った。

資料①

研修報告

	介護職員	看護職員	生活相談	管理者	合計
常勤職員	0	1	1	2	
非常勤職員	3	0		3	

☆ 主な研修内容 認知症ケア研修・介護技術・高齢者虐待対策研修・等。

☆ 内部研修 復命研修・救命講習・食中毒予防研修等

資料②

外出支援・地域交流

月	内容	月	内容
4月	お花見・雑祭り外出・芝桜見学	10月	陸ガメ見学、松ぼっくり拾い
5月	芝桜見学・比田小学校運動会	11月	文化祭作品展示・紅葉見学・陸ガメ見学・望が丘公園・安来市民生委員女性部紙芝居
6月	大正琴・ハーマニカ演奏	12月	クリスマス会・大正琴ハーモニカ演奏会
7月		1月	金屋子神社初詣・とんどさん
8月	東西盆踊り大会参加(台風のため中止)	2月	
9月	交流会・敬老会・認定こども園交流会	3月	節分・大正琴演奏会

資料③

利用実績表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成30年度平均	平成29年度平均
H30延人数	336	367	350	372	386	343	363	315	282	244	262	298	327	348
平均利用者数	13.4	13.6	13.5	14.3	14.3	13.7	13.4	12.1	11.3	10.2	10.9	11.5	12.7	13.5
稼働率	74.7%	75.5%	74.8%	79.5%	79.4%	76.2%	74.7%	66.7%	62.7%	56.5%	60.7%	63.6%	70.4%	74.5%

平成30年度 事業報告書

事業所名 広瀬デイサービス

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<p>①心身機能、活動の維持・向上</p> <p>②地域社会で主体的な生活が送れる</p>	<p>①H29年度実施した口腔機能運動の評価・考察を行い、効果的なプログラムを導入し、総合事業対象者を主とした口腔機能維持運動を実施し、介護予防意識を高め、心身機能の維持に努めた。その結果、ほとんどの利用者の介護度が維持できている。</p> <p>②心身機能の維持や活動能力を維持することで住み慣れた地域での生活が継続出来ている。</p>
サービス目標	<p>介護予防意識を高める。</p> <p>クラブ活動等の活動を通し、生活意欲向上に努める。</p> <p>地域貢献活動を通し、地域とのネットワーク作り。</p>	<p>利用者が自分の口腔機能を評価し、健康で過ごすためには「何が必要であるか」等主体的に考え、その考えをもとにプログラムを見直し、総合事業対象者を中心に月2回以上の口腔機能運動を実施した。</p> <p>全利用者に実施した意向調査をもとに「興味・関心」のあるクラブ活動を月1回実施し、生活意欲の向上に努めた。</p> <p>ひろせ保育園へのプリンター寄贈や広瀬・布部・山佐小学校、広瀬中学校への雑巾寄贈を通し、地域とのかかわりが持てるように努めた。</p>
能力開発目標	<p>外部研修</p> <p>内部研修</p> <p>資格取得</p>	<p>常勤職員、非常勤職員ともに外部研修に参加し、専門職としてのスキルを高めた。</p> <p>*別紙資料1参照</p> <p>復命研修を中心に、全職員の質の向上に努めた。</p> <p>介護福祉士資格取得者1名</p>
地域目標	<p>地域貢献活動の実施</p> <p>地域ボランティアの開拓</p> <p>地域・家族交流</p>	<p>ひろせ保育園へのプリンターの寄贈(年2回花の植替え実施)、広瀬・布部・山佐小学校、広瀬中学校へ手作り雑巾の寄贈</p> <p>地域住民ボランティア等による月1回以上のクラブ活動の実施</p> <p>台風24号のためデイサービス祭り中止。10/1～20利用者作品展覧会を開催。 *別紙資料2参照</p>
業務目標	<p>1日平均24名稼働率85%以上</p> <p>キャンセル率6%以下</p>	<p>○1日平均利用者数22.6名(前年度23.8名)</p> <p>○平均稼働率83.6%(前年度88.0%)</p> <p>○平均キャンセル率7.4%(前年度7.4%)・・・内訳:総合事業対象者 12.0% 通所介護対象者 6.3% 稼働率の低下は、8～10月新規利用者がなかったことが大きな要因。一方でキャンセル率は、前年度と同値であり、通所介護については前年度よりもキャンセル率は改善している。また、冬期による利用者数の落ち込みは見られなかった。</p> <p>*利用実績については別紙資料3参照</p>

<資料1>

研修参加状況

	介護職員	看護職員	歯科衛生士	生活相談員	管理者	合計
常勤職員	3	0		3	3	9
非常勤職員	2	1	0			3

*主な研修内容

生活相談員の役割と稼働率向上、食中毒予防、人材育成、島根県老施協研修大会

認知症ケア研修、身体拘束等の適正化、高齢者看護、薬の知識、アセスメント・ICF研修

<資料2>

地域交流、外出支援等について

4月	桜・雛めぐり、チューリップ見物、こいのぼり見物、つつじ見物	10月	広瀬小学校交流会、山佐小学校雑巾寄贈・交流会、広瀬中学校雑巾寄贈、運動会、芋ほり
5月	鯉のぼり見物、つつじ見物、塗り絵コンクール出品	11月	広瀬・布部小学校交流会・雑巾寄贈、ひろせ保育園交流会、紅葉狩り、ぬり絵コンクール
6月	ひろせ保育園交流会、紫陽花見物、ふれあい書道展出品	12月	大正琴演奏会、忘年会、しめ縄作り
7月	祇園祭り神輿見物、大正琴演奏会	1月	とんどさん、初詣、書道展出品
8月	七夕祭り	2月	白鳥見物、歌謡コンサート
9月	敬老会、広瀬中学校体験学習、島大生実習	3月	雛めぐり

*川柳：月1～2回程度月刊デイへの投稿、山陰中央新報(年3回)投稿、広瀬交流センター(年2回)投稿

<資料3>

利用実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度平均
H30延人数	596	606	598	596	591	541	582	574	567	554	534	616	579.6
平均利用者数	23.8	22.4	23.0	22.9	21.9	21.6	21.6	22.1	22.7	23.1	22.3	23.7	22.6
稼働率	88.3%	83.1%	85.2%	84.9%	81.1%	80.2%	79.8%	81.1%	84.0%	85.5%	82.4%	87.8%	83.6%

平成30年度 訪問介護事業報告(太陽ヘルパーステーション)

令和元年5月7日

項目	実施計画	実施状況
重点目標	<p>多様な状況への柔軟な対応力</p> <p>信頼関係の確立</p>	<p>・身体状況の急変や認知症利用者の突発的行動に対し、緊急時対応の再確認や対応策を試行錯誤しつつも、利用者の安全な在宅生活の継続が援助できた。</p> <p>・モニタリングやケアマネの情報を参考に、関係作りにも努め関係保持が出来ている。利用者個別の対応が不足し不満や関係悪化のケースもあり、反省と今後改善に努力する。</p>
サービス目標	<p>利用者・家族の思いの尊重と柔軟な対応力</p>	<p>・利用者側の意向や指摘を生かす為、ヘルパー会議でサービス提供状況を確認・見直し、ケアマネへ都度の情報提供やサービス内容の提案を行った。「思いの尊重」に繋げ評価できるモニタリングでの利用者の声も頂き、他事業所と連携も図れ職員の対応力が少しずつ向上してきた。</p>
能力開発目標	<p>ヘルパー連絡会 外部研修</p> <p>内部研修</p>	<p>・毎週月曜12:30～定期に実施 全員</p> <p>・ヘルパー部会研修(サ責の役割) 2名</p> <p>・高齢者虐待防止研修 1名</p> <p>・県老協研修(事例発表)大会 2名</p> <p>・認知症ケアについて 1名</p> <p>・復命研修(認知症・腰痛予防対策・人権) 全員</p>
地域目標	<p>民生委員・地域との情報交換</p>	<p>・民生委員・近隣者の情報提供等の協力が有り、利用者の状況把握を深め、ニーズに沿ったサービスや意向の反映が出来た。他者との交流が少ない利用者に対し、訪問により元気になられたとの地域の方からの評価も頂けた。</p>
業務目標	<p>利用者目標件数 月50件</p> <p>包括・居宅支援事業所との連携</p>	<p>・要介護者月平均46件(前年44件)目標不達成。延べ人数610人減。要支援者は560人と増となる。</p> <p>・要介護者の在宅生活は、家族・地域協力や他のサービス支援が伴わないと、継続が困難になる場合も多く、要介護者の新規が少ない・入院・施設入所等の在宅生活困難状況が、要介護利用者減の要因と考えられる。</p> <p>・居宅支援事業所へ当事業所の空き情報提供、緊急訪問依頼に早いサービス提供に努力をし、結果要支援者利用増となる。</p>

平成30年度 障がい者自立支援事業報告(太陽ヘルパーステーション)

令和元年5月7日

項目	実施計画	実施状況
重点目標	生活意欲に働きかけた支援 信頼関係の確立	・依存心が意欲となる様、励ましや共の行動で自主性を考慮し支援した結果、利用者の出来る事の維持や増やす事も出来た。 ・訪問時間の少ない時間でも、意識して利用者・家族との会話をし関係作りに努め、関係保持が出来ている。
サービス目標	利用者尊重と接遇	・笑顔での訪問、利用者の思いの傾聴を行った。 ・精神・知的等障がい個々の利用者の思いを尊重する為、会話内容が直接的でなくまた具体的に分かり易い等、表現に工夫をし、利用者の納得や支援への理解に努めた。
能力開発目標	ヘルパー連絡会 外部研修 内部研修	・毎週月曜12:30～定期に実施。 全員 ・市障がいサービス連絡会事例検討会 1名 ・人権研修 全員 ・復命研修 全員
地域目標	地域・関係機関との連携	・障がい者・サービスの情報共有や支援・問題早期解決に繋げる為、市に対し介護保険訪問介護事業所対象に事例検討会議企画を提案し、開催され参考の上連携が図れた。
業務目標	利用者目標件数 月5件	・月平均8名(前年5名)と目標件数以上となる。 ・他事業所の受け入れが自身の問題で出来ない利用者も、福祉課の同行等協力依頼をし、訪問可能な体制づくりを行い訪問依頼をサービス提供に繋げる努力をした。

平成30年度 太陽ヘルパーステーション利用実績表

☆訪問介護(介護保険)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
実人数	43	41	42	41	40	42	44	41	37	37	38	36	482	
延人数	440	408	423	423	420	425	445	423	373	383	368	369	4,900	
内訳	身体介護	131	114	129	122	131	150	148	139	126	123	116	104	1,533
	身体・生活	59	55	74	65	70	78	79	82	77	94	61	61	855
	生活援助	117	95	87	111	100	75	85	75	64	54	70	77	1,010
	訪問型独自	133	144	133	125	119	122	133	127	106	112	121	127	1,502

☆訪問介護(障がい自立支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	7	7	8	8	9	9	9	9	9	7	7	6	95
延人数	50	50	53	60	59	57	65	59	63	58	58	59	691

平成30年度 事業報告書

在宅介護支援センターひろせ

社会福祉法人 太陽とみどりの里

目 標	事 業 計 画	実 施 状 況
重点目標	<p>①利用者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、様々な社会資源を活用していく。</p> <p>②医療と介護の連携を強化する。</p>	<p>◎支援の充実を図るためケース検討会やマネジメントの振り返りを行い、多角的なアセスメントの実践に努めた。</p> <p>◎地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。</p> <p>◎医療機関の連携室との連携して退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。</p>
サービス目標	<p>①居宅介護支援事業</p> <p>②総合相談支援業務(安来市地域包括支援センター委託事業)</p> <p>③地域支援事業、家族介護者教室受託事業等</p>	<p>◎プラン作成件数(居宅介護支援) ……年間1,931件(月平均161件) 前年対比 85.6%</p> <p>◎介護予防プラン作成件数 ……年間 473件(月平均39.4件) 前年対比 101%</p> <p>◎介護支援専門員実務研修受入 ……1名の研修を受け入れた。</p> <p>* 特定事業所加算Ⅱ(400単位)の算定</p> <p>* 初回加算50件、入院時情報連携加算61件、退院退所加算33件、小規模多機能連携加算1件</p> <p>◎総合相談支援事業……延べ79件の相談があった。*実施報告書参照</p> <p>* 介護サービス利用に関することが多く退院支援も増加傾向である。</p> <p>◎携帯電話による24時間体制をとり、地域包括支援センターとの連携を図った。</p> <p>◎地域ケア会議の開催……11/14広中校区会議</p> <p>～住民主体の介護予防活動が増えるため～ (参加者34名)</p> <p>◎専門的・継続的な相談支援……ミニサロン・健康教室町内3会場に出向いた。</p> <p>◎介護者教室……「手軽に介護食を作ってみよう」「排泄介護・オムツの使い方」をテーマに広瀬町内2会場で開催し、介護者16名の参加があった。</p>
能力開発目標	<p>①課題分析能力・ケアプラン作成能力の向上</p> <p>②コミュニケーション能力の向上</p> <p>③チーム力の向上</p>	<p>＜主な研修内容＞</p> <p>◎ケアプラン研修会</p> <p>◎高齢者虐待防止対策研修</p> <p>◎リスクマネジメント研修</p> <p>◎在宅医療介護連携研修会(看取り・訪問リハビリ)</p> <p>◎認定調査員現任研修会</p> <p>◎介護支援専門員専門研修</p> <p>◎主任介護支援専門員研修</p> <p>◎地域個別会議</p> <p>◎地域ケア推進会議</p> <p>◎コーピング、スーパーパービジョン研修会</p> <p>◎高齢者虐待防止・人権同和問題研修</p> <p>◎メンタルヘルス研修</p> <p>◎歯科医師、医師との意見交換会</p> <p>◎個別ケース会議 週1回の定例会議</p>
地域目標	<p>①地域に信頼される拠点を目指す</p> <p>②地域課題把握・地域づくりの提言</p> <p>③相談支援</p>	<p>◎地域から信頼され親しみの持てる窓口業務ができるよう環境整備や接遇面の向上に努めた。</p> <p>◎広瀬町内のミニデイや健康教室へ参加し地域課題の把握に努めた。</p> <p>◎介護者教室の内容は上記参照</p> <p>◎安来市社会福祉法人連絡会の「ふくし何でも相談会」で相談支援を行った。</p>
業務目標	<p>①介護給付 月195件</p> <p>＜居宅支援費 I : 142件 II : 53件＞</p> <p>②予防給付 月40件</p>	<p>①介護給付は月平均161件 居宅支援費 I : 119件 II : 42件</p> <p>②予防給付は月平均39件であった。</p> <p>◎◎要介護認定調査……年間72件の調査</p>

事業所名 在宅介護支援センター ひろせ

I. 相談方法(延べ数)

		延べ数
1	電話	39
2	来所	17
3	訪問	23
計		79

III. 相談経路別区分(新規)

経路	実人数
本人	8
家族・親族	41
ケアマネージャー	0
行政	0
医療機関	15
民生児童委員	4
包括支援センター	9
近隣住民・知人	1
警察	0
介護事業所	0
その他関係機関	0
計	78

II. 相談人数

		計
1	実人数	70
	内、介護認定を受けていない人	32
2	延べ人数	79
	内、介護認定を受けていない人	36

IV. 相談種別/件数(※重複あり)

① 介護保険その他の保健福祉サービスに関すること

		延べ数			延べ数
1	認知症に関すること	9	9	介保申請・サービスに関すること	74
2	困難事例に関すること	0	10	福祉用具・住宅改修に関すること	28
3	高齢者虐待に関すること	0		内、a) 自宅に訪問した件数	12
3の内訳	内、a) 身体的虐待	0		b) 住宅改修件数	2
	b) 性的虐待	0	11	障がいに関すること	0
	c) 心理的虐待	0	12	施設サービスに関すること	1
	d) ネグレクト	0	13	ケアマネ支援に関すること	0
	e) 金銭的虐待	0	14	成年後見に関すること	0
4	生活困窮に関すること	0	15	消費者被害に関すること	0
5	状況(実態)把握に関すること	0	16	苦情に関すること	0
6	日常生活支援に関すること	3	17	その他(上記以外のもの)	0
7	入院・退院支援に関すること	20			0
8	ゴミ屋敷支援に関すること	0	計		135

V. 年齢別件数

		実人数
1	～64歳まで	2
2	65～74歳まで	6
3	75～84歳まで	26
4	85歳～	36

VI. 校區別件数

	実人数
一中校区	2
二中校区	1
三中校区	2
広瀬中校区	66
伯太中校区	0

VII. 訪問による実態(状況)把握件数

		実人数
1	ひとり暮らし世帯	5
2	高齢者世帯	6
計		11

平成30年度 事業報告書

グループホームなごみ

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の役割を大切にしたい支援を考える。 ・入居者の能力に応じ自立した生活を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の進行の違いにより、個人で出来ること出来ないことに差が出来るために、その方にあった、「声かけ」や「介助」等を見極めながら支援を行った。 ・できる事を、スタッフがやってしまうのではなく、自分でできる事は見守りで、できない事を支援するようにした。
サービス目標	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の身体状況に合わせたサービスの提供をする。 ・個々の思いやアセスメントを的確に行い支援につなげる。 ・外出援助や季節の行事などに参加し、活気と笑顔のある生活を支援する。 ・介護者主観による介護者の満足のための支援ではなく、本人主体の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望や家族との情報交換を行いながら、自分らしい生活が出来るよう支援した。 ・買い物、外食など個人の能力に応じた外出を支援した。 ・個人のケアポイント、毎月のモニタリングをカンファレンスにて状況をスタッフ全員で把握し共有化し支援につなげた。 ・介護する側の視点ではなく、入居者の皆様の視点に立って支援を行った。
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上・資格取得を目指す。 ・研修を通して専門性の向上に努める。 ・目標を理解し、どう行動すべきなのかを理解しながら、チームとして貢献できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの研修を受けたことのない職員も増え、理解を深めるために認知症ケアの研修に参加した。 ・内部研修にて高齢者虐待・人権などの復命研修を行い、コンプライアンスの大切さを勉強した。 ・外部研修は人員不足もあり、なかなか参加できなかった。
地域目標	<ul style="list-style-type: none"> ①季節ごとの外出 ②ボランティアの受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・祇園さん・恵比寿さん・ひな祭りなど町内の行事に出かけ地域の方との交流を行った。 ・定期的に民生委員さん・抹茶ボラさんなど来所していただいた。 ・自治会の夏祭りへの参加し、「なごみ綿菓子屋」を日頃の感謝をこめて行った。 ・年2回の家族会を開催し、意見交換を行った。 ・事業所内行事や外出については別紙
業務目標	<ul style="list-style-type: none"> ①さり気ない支援を行いながら、安全な生活環境を作る。 ②地域に向けた「認知症カフェ」の開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行能力の低下に伴い、転倒事故が多くなった。アクシデントレポートの提出と検討会を行った。 ・高齢・重度・転倒などにより入院・退所があり稼働率は低くなった。 ・看取りの希望があり、1名看取り計画を立てたが、往診医が見つからず最後の最後で救急車を要請した。今後看取りの希望があった場合に医師との連携をどのようにするのか人としての方針の検討が必要である。 ・認知症カフェ「なごみカフェ」を5月から継続した。（別紙）

・利用者の外出一覧・地域との交流行事

月	内 容
4月	花見(桜)・チューリップ見学・由志園・タケノコ堀
5月	ジョイフル・布部ダム・カフェ桜・三日月食堂
6月	イチゴ狩り・桜苑まつり
7月	祇園祭・避難訓練
8月	栄町夏祭り・七夕流し
9月	敬老会(家族会4名)
10月	境港ラーメンツアー・収穫祭
11月	カフェ桜・東岩坂コーヒー外食
12月	民生委員さんとのクリスマス会・もちつき
1月	初もうで(熊野大社・賀茂神社)
2月	節分(まめまき)
3月	ひな祭り会(家族会2名)

毎月1回民生委員のボランティアさん来所
 抹茶ボランティア(月1回)
 誕生会・食事バイキング・フルーツバイキング
 スイーツバイキング・ドーナツバイキング

・研修報告

	介護職員	管理者	合計
県外研修	0	0	0
県内研修	10	2	12

* 主な研修内容

- ・認知症研修
- ・人権研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・認知症対策研修会
- ・新人職員研修会

* 内部研修

- ・救急救命法講習
- ・ノロウィルス対応研修
- ・感染症対策研修
- ・身体拘束・虐待について
- ・法令遵守につて

・退所者数・理由

安来市立病院	3名
しらさぎ苑入所	2名

・入院

4月	圧迫骨折にて入院	10月	体調不良にて入院1名
6月	体調不良にて入院2名	1月	転倒にて入院
7月	体調不良にて入院2名	2月	体調不良にて入院2名
8月	転倒にて入院	3月	体調不良にて入院2名

・認知症カフェ参加者数

		民生委員	包括他	合計	内容
5月	14	2		16	
6月	12	2		14	音楽コンサート
7月	12	4	2	18	
8月	15			15	音楽コンサート
9月	14			14	
10月					台風のため中止
11月	17			17	
12月	5			5	
1月	10			10	和菓子作り
2月					インフルのため中止
3月	12			12	
	111	8	2	121	